



北アフリカ地域ニュース

エジプト：経済・EUROMONEY 会合におけるガーリ財務相スピーチ（10月21日付現地各紙）

21日付現地各紙は、カイロで21、22日の2日間にわたって開催された金融に関するテーマを取り扱ったEUROMONEY会合におけるガーリ財務相スピーチについて報じている(概要以下)。

1. エジプト経済は、現在の金融危機を克服しながら堅実に前進している。成長率は、6.7%となる見込みである。エジプト投資のほとんどは、外国資本市場に投資していないため金融危機により影響を受けないであろう。エジプトの金融部門は十分な流動性を確保しているため、いかなる問題にも直面していない。
2. 現在の金融危機は、インフラの拡張、新市場の開拓、工場や会社の増設、教育分野への投資において好機である。今後5年間で官民パートナーシップ（PPP）を通じて150億エジプト・ポンドが病院、学校、上下水プロジェクト等のインフラ建設に投入される予定である。今年度の財政赤字は、対GNP比で6.9%となる予定である。
3. 世界的な景気後退を受けて物価上昇率は低下し、欧米からの商品の輸入価格は下落するであろう。9月の都市部における物価上昇率は、8月の23.6%に対し、21.5%に低下した。
4. 湾岸諸国からの投資を中心とする外国直接投資の後退に関し、原油は主要なエネルギー源であり続けるため、原油価格は再び上昇するであろう。現在の原油価格の下落は長くは続かないであろう。